

三沢市地域公共交通会議 会議録

| | | | | | | |
|--|---|--|-----|---------|-----|---------|
| 会議名称 | 平成24年度第3回会議 | | | | | |
| 開催日時 | 平成25年2月22日（金）14時30分～16時00分 | | | | | |
| 場 所 | 三沢市国際交流教育センター 2階 研修室1 | | | | | |
| 出席者 | 会 長 | 小渡 章好 | 監 事 | 川村ツネ（代） | 委 員 | 根岸 勲 |
| | 委 員 | 種市 博幸 | 委 員 | 田中 和男 | 委 員 | 鹿糖 達郎 |
| | 委 員 | 小笠原 和彦 | 随 行 | 佐藤 美仁 | 委 員 | 佐藤 範幸 |
| | 委 員 | 向中野 貢 | 委 員 | 中西 敬悦 | 委 員 | 尾形 豊（代） |
| | 事務局 | 三沢市：山本課長、堀課長補佐、横田係長、出戸係長、樋口主事、 千代田コンサルタント：松浦、苅込 | | | | |
| 会議次第 | <ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 会長挨拶 3 議 事 (報告事項) <ul style="list-style-type: none"> ・市立三沢病院ヒアリング及びバス利用状況調査結果について ・コミュニティバスのダイヤ改正（平成25年4月1日）について (協議事項) <ul style="list-style-type: none"> ・上限運賃制に係る実証実験事業について 4 閉 会 | | | | | |
| 会議の経過及び審議結果（概要） | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 会長挨拶 小渡会長挨拶 3 議 事 (報告事項) 【市立三沢病院ヒアリング及びバス利用状況調査結果について】 事務局から報告事項の趣旨を説明。 千代田コンサルタントから資料1及び資料1-2を説明。 <主な意見> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし | | | | | | |

【コミュニティバスのダイヤ改正（平成25年4月1日）について】

事務局から報告事項の趣旨を説明。

十和田観光電鉄株式会社から資料2を説明。

<主な意見>

(小渡委員)

- ・ダイヤ改正に合わせて時刻表を作成するか。

(事務局)

- ・ダイヤ改正は、実証運行ではないものの利用が少ないようであれば見直しもあり得るものである。利用者に知っていただき、使っていただくことが大事であるので、4月1日の広報誌に記載するとともに「十和田・三沢公共交通ガイド」を改正したいと考えている。

(協議事項)

【上限運賃制に係る実証実験事業について】

事務局から資料3を説明

十和田観光電鉄株式会社から追加説明

<主な意見>

(向中野委員)

- ・市立病院移転とコミュニティバス運行により、市民のタクシー離れが激しい。資料3の説明の中で、コミュニティバスの運賃格差の是正という話があったが、市内のバス運賃100円が安すぎるために問題が発生するのではないかと感じる。タクシー運賃は路線バス運賃の5倍前後であるが、それでもタクシーを利用される方がいる。病院に通われるお年寄りや障害者の方などはタクシーを使わざるを得ない。また、この時期は道路が凍っており高齢者の方の通院は大変。こういった方がいることも考えて頂きたい。市内の運賃が安すぎるから北浜地区の方が高いと感じるのでないか。この実証実験により市の負担も今まで以上に増加する。これで良いのかという思いがある。以前、市の福祉課では、初乗りタクシー代分のチケットを配布していた。せめて、元の市立病院に通う程度の料金で行けるような手助けをしていただきたい。福祉のタクシー券の事業は、バス補助よりも低額の予算で実施できる。消費税率が引き上げられると、タクシー運賃も上がる可能性があり、利用者の負担が大きくなる。それまでには何とかしていただきたい。

(小渡委員)

- ・タクシー利用者は、バス停が離れている方や目的地までダイレクトな移動が必要な方であり、そういう意味では交通弱者に間違いはない。バスとタクシーは、同じ公共的な乗り物でありながら利用者の違いがあるので、タクシーはバスと違った観点から交通弱者に対してどのような手当てができるのか議論する必要がある。タクシー協会として積極的に問題提起した方が良い。八戸市では、バス会社が3社あり、それぞれ独自に運行しているが、

八戸駅周辺では、利用者目線に立ち、3社連携して10分おきにバス運行するようになった。これにより劇的に便利になった。効率性と顧客利便性が成り立つ工夫がされた事例である。タクシーについても、協会等で議論していただくと色々な可能性が生まれると思う。

(事務局)

- ・ 市街地の運賃100円が安すぎるのではないかというご意見については重々承知している。お年寄りや障害者の方など、タクシーしか使えない方に対する福祉の視点も必要だという意見は、事務局として重く受け止めたいと考えている。コミュニティバスの市街地での運賃が100円となっている理由は、市立病院の郊外移転に伴い、従来の100円バスと路線バスを一体的に見直し、コミュニティバスとして再編したという経緯からである。「100円」という運賃設定が適正かどうかについては、今回ご説明した実証実験において、全体的な運賃体系の検証の中で検討していきたい。バスとタクシーの役割分担についても視点に含めて検討したい。

(小渡委員)

- ・ 利用者の方に近づく努力が必要。三沢市はバス運賃体系が細かくて利用者は大変だろうと思う。八戸市では、運賃を50円単位にしてからとても利用しやすくなった。

(小渡委員)

- ・ 異議が無ければ承認とする。(異議なし)
⇒本事項は承認された。

【その他】

(事務局)

- ・ 本年度最後の会議である。来年度の第1回会議では、本年度事業の実施状況のご報告と25年度の事業計画・事業予算についてご提案させていただきたい。また、向中野委員からいただいた件について、検討のあり方も含めてご提示させていただければと思う。

(小渡委員)

- ・ タクシーについては、活用いただくための仕組みづくりの提案など、三沢市民にとって公共交通の厚みを増すような議論が望まれる。

(小渡委員)

- ・ 来年度の第1回会議は、いつ頃の開催を考えているか。

(事務局)

- ・ 4月下旬頃と考えている。

4 閉 会